

「令和4年度伊達市経営に関する説明会（梁川地域）」発言録

日 時：令和4年4月26日（火）

13時40分～14時20分

場 所：梁川中央交流館 大研修室

参加者：121/134人

（町内会長、行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

生活環境関連

■バイオマス発電について

行政推進員（塩野川）：市長から令和4年度伊達市事業説明がありましたが、総合的な経営を話すことも大事なことですけど、今、梁川地域では大変なことが起こっております。この大変なことが一言も触れられなかったことは非常に残念であります。栗野地区のやながわ工業団地にバイオマス発電を建設するという計画が4年前に始まりまして今月から工事が始まりました。市長が12月議会で反対せざるを得ないと表明をいたしました。その言葉を聞いて一安心だとはったところでありました。3月の議会で12月の反対表明はいささかも変わらないと答弁されました。これは明らかな公約なのになぜ令和4年度の事業説明書にバイオマス発電の反対をどうやって行くか1行も書かれていない。1千円の予算も組んでいない。これはどういうことでしょうか。あれほど反対を表明されていて、すでに工業団地で仕事は始まっているので認めるのでしょうか。伊達市の幹部の方々と私たちは何回も話をしてきましたが、市長は1回も参加されませんでした。ほんとに理解されているのかどうか全然わかりません。事業主であるログ社からは数回にわたり、市と我々守る会で質問をしました。それについて市と一緒に検討を重ね、質問内容が不備な点について再質問、再々質問をしてきました。今年に入って2月2日にログ社から最終的な回答がありました。その回答書を市長は読んでいますか。これには一番懸案なものが書かれてあります。まず地下水は季節によって変化します。夏場は1日に2,556トン、冬場は925トン、通常で1,707トン。これをログ社の敷地内の地下水をくみ上げる計画です。自分の敷地の地下水をくみ上げて使うことを答えているわけです。排水も夏と冬で使用排水量が違うと示されています。夏場の場合は地下水を1日2,556トン使う。冷却塔に使う水ですけども、このうち大気中に放出させるのが1,875トン、冷却塔に排水として残るのが681トン。その他にボイラー用の水、上水を1日45トン使います。このうち42トンがボイラー排水される。3トンが

生活排水に回る。この2つから排出される水が南側の構内の共通排水溝に集められます。そこから梁川工業団地の排水路に場外排水すると書いてあります。夏場ですと1日723トンの水が排出される。冷たい水ではなく40度以上のお湯です。そして運搬は、東北道国見インターから広域農道を経由して、やながわ工業団地内工場に毎日10トントラックで30台搬入する計画です。そして大気汚染、排気ガスモニタリングに関する報告では、伊達市と協定書等で反映させていただきます。協定書は依頼人の申し出があった場合は伊達市と協議指導を受けながら対応します。公害防止、福島県生活環境保全等に関する条例に基づき、伊達市と公害防止協定書を締結すべく、伊達市と協議を進めてまいりますと書いてあります。これは本気になって考えているのか。協定書も何も進めていないのに、このような状態で、この事業説明書の冒頭に「本市の未来を明るく元気にし、市民一人一人が安心して生活できる夢のあるまちになるよう取り組みを進める予算編成を行いました」とありますが、梁川町にとってどこが安心して暮らせるんですか。説明をお願いします。

市長：私は12月議会で科学的な根拠に基づいた説明がなされていないということで、現状を踏まえる限り認めるわけにはいかないと答弁をしました。事業者側にはガイドラインに基づいて市民に対して丁寧な説明をしなければならないということできていなかった。当然説明されていないので科学的な根拠に基づいたこともされていないということの現状を踏まえると認めるわけにはいかないとということで話をさせていただきました。その後、国に対して東北経済産業局長に直接会って現状を伝えました。事業者が地元に対して説明しなければならないというのが努力義務になっています。これを努力義務ではなく遵守義務にしよう、この遵守義務を違反した場合は取り消しまでできるようにしようと言いました。局長からは「しっかり事業者に指導する」と話をいただきました。また、農林水産省、国土交通省に対しましても、この場所に立地が可能なのかを伺っています。法律上立地を拒むことはできないという回答でございます。現行法令の中で事業者を拒否はできないという現状にはなっています。そういった中で、市民の皆さんが不安に思っている内容について、科学的な説明を求めていかなければならないと思っています。市民団体と共に説明を事業者に求めてきました。事業者の方からは説明がしたいと話がありまして、市民団体の方々とも話をしましたが、市民団体の方からは自分たちは説明会を聞く立場ではないとございましたので、市としまして科学的な説明をしなければならないと思っています。地下水関係、排水される水、煙突から出される水蒸気、それがどれだけの影響があるのか科学的な方法、根拠を用いて説明を受けたいと思っています。説明の中で市民の皆さんの健康、未来に影響がないかが一番のポイントだと思っていますので、その部分をしっかり聞いたうえで判断をしていきたいと思っています。協定書と話がありましたが、協定とは事業が決定し

て建設をするということの後で作るものなので、そこまで至っておりません。私としても地下水の問題が大きいと思っています。今、事業者が行っているものは、事業者が計画している地下水をくみ上げたときにどれだけ影響があるのか周辺の既存の企業に影響があるのかどうかまず確認をしなければならないということで進めていると思っておりますので、建設が始まっているものではないと思っています。事業者の方からは地下水の水量の確認ということでございますので、そのデータをもらったうえでしっかり説明を受けていきたいと思っています。

農林業・商工業・観光関連

■梁川城址の観光について

行政推進員（内町1）：令和4年度伊達市の経営方針を見ていて「未来躍進」夢のあるまちづくりを進める年度と書いてあります。梁川や霊山、月舘は人口減少と高齢化で消滅してしまうのではないかと危機感がありますが、現状の危機感があまり感じられない経営方針になっています。危機感を持った市の運営をしてもらいたい。具体的には昨年も申し上げたが、梁川城址公園のところを観光化して、霊山と連携して一大観光地にして市外から人を呼び寄せて、伊達市の美味しい果物を食べてもらうような構想を出していただかないと夢のあるまちにならない。保原や伊達は夢のあるまちかもしれませんが、梁川は衰退していく一方なので、均衡ある発展を考えていただきたい。梁川城址公園の観光化についてご意見を伺います。

教育部長：梁川城址公園の整備ということで、国の史跡整備事業として堂庭遺跡、岩地藏遺跡について、伊達氏の梁川遺跡群と一体となって整備をしようという考えで国の方に史跡への申請を今年度中に行う状況です。国の史跡になりましたら、梁川城址、堂庭遺跡、岩地藏遺跡という形で一体的に利活用、保存について協議をしながら保存計画を立てて整備を進めていきたいと考えております。しかしながら、本格的な整備に入るまでに活用計画、整備計画を作っていかなければなりませんのでしばらくの時間がかかります。国との協議が入ってきますが、梁川城址の周辺の保存活用について適切に進めながら計画を進めてまいりたいと考えております。周遊についても案内板等の整備をしながら維持管理を進めてまいりたいと思います。

産業部長：梁川町は伊達氏発祥というところで、梁川城址をはじめ、八幡神社や大枝城址などが点在しておりますが、観光地としてももう少し磨いていく必要があると思っています。市役所の人間の考えではなく、別な考えも入れた上で観光地を商品化させる、少し行ってみたいと思うように今年から始めていきたいと思っています。もちろん梁川だけではございませんけど、梁川の歴史を大切にしていきたいと思っています。

災害復旧・防災・減災関連

■大正橋、伊達崎橋の通行について

行政推進員（荒野）：伊達崎橋は乗用車が大丈夫ということですが、いつも通るたびに大丈夫かなと思う。大型車については大正橋の交通量が多いですが大丈夫なんでしょうか。

建設部長：伊達崎橋は、1961年に造られました老朽橋ということで、現在ジョイント（橋の間と間）に鉄板を敷きまして大型車以外の車両が通行できる状況です。老朽橋ということで、国の方が直轄で橋の芯管をまずやるということになっています。その状況を踏まえまして橋の架け替えなどを検討しているということですので伺っております。現在、大型車が通行止めということで、ご不便ご苦勞をおかけしているというところですけど、現状では普通車は通れるということで進めています。また、大正橋につきましては、昭和大橋も通行止めで止まっているという状況で交通量が多くなっているのが現状です。こちらにつきましても伊達市を含めまして伊達警察署、消防署、福島交通、福島県、国土交通省で、渋滞橋連絡協議会を作ってございまして、信号について少し時間差をかけながらうまく流れるようにしたらどうか、迂回の看板を設置して渋滞緩和のための看板を立ててはどうかなど、少しでも渋滞の対策を対応して進めているところです。自然災害ということで甚大な被害となりました伊達崎橋、昭和大橋、伊達橋も含めまして早急に復旧していただくように市といたしまして一生懸命努力してまいります。